

㊦昭和51,52年度幹事決まる

2月27日 二階堂、難波両幹事が京大医学部に於て開票を行い、次のように新幹事が決定しました。

東 部	当選	後 藤 正 義(東北大)	25票
	"	湊 清(国立遺伝研)	14票
	次点	角 尾 堯 英(独協医大)	14票

(注)湊、角尾氏は同票ですが、規約により年長者を当選としました。

西 部	当選	加 納 永 一(京薬大)	36票
	"	江 村 牧 人(愛知ガンセンター)	17票
	次点	藤 原 美 定(神戸大)	16票

(注)江村牧人、五島喜代太氏は得票数ともに17でしたが、五島氏は退会されますので江村氏を当選とし、次点を藤原氏としました。

この結果、昭和51年度幹事は、丸野内(三菱生命研)、佐藤(茂)(国立ガンセンター)、難波(川崎医大)、二階堂(金沢大)の各氏と四人の新幹事ということになる。

㊦第41回研究会開催について

別項(色頁)の要領で行われる。

㊦幹事会議事録

1975年12月11日(土)、東大薬学部において在京幹事会が開かれ、下記の事項について協議された。出席者は、佐藤(茂)、丸野内、野瀬の各幹事、山田会計担当、梅田会員通信担当、乾ビブリオグラフィー担当の各幹事であった。なお、欠席の佐藤(弘)、吉田、難波、二階堂の各幹事も、この幹事会での決定事項に事後承認された。

会費値上げの件：本学会の財政は、現在までのところ黒字で、健全財政であるが、昭和51年には郵便料の大巾値上げ、印刷経費の上昇のため赤字になることが予想される。従って、会費の値上げはやむを得ない事態と考えられ、一般会員会費年2,000円としたい。賛助会費は据置きとする。これらの件については、総会の承認が必要なので、5月、博多での総会で討議して頂きたい。

(文責 野 瀬)

✧ 組織培養用培地作製上の問題点

野 瀬 清 (東大・医科研)

米国 TCA の Letter に、培地について興味ある問題点が出ているので、以下に要約する。

- (1) 調製した液体培地を保存しておく場合、蛍光が当たると毒性物質ができる (R. Wang, In Vitro, in press)。これは、蛍光により培地中のチロシン、トリプトファンが励起され、リボフラビンと反応して毒性物質が生成するためである。従って、培地はできるだけ暗所に保存しなければならない。
- (2) 培地成分の中に含まれる不純物が、培養上必須である可能性がある。例えば、超純粋な水を用いて培地を作ると、ウイルスブランクの形成がうまくゆかないことがある。また、25年前 medium 199 が作られた当時のアミノ酸純度は 98% であったが、現在は高純度のアミノ酸が培地に使われている。従って、処方通りであっても、現在の培地組成は不純物の含量が昔と非常に異っていると考えられる。この事実は、栄養要求、増殖因子の研究の際に、微妙に影響しているであろう。
- (3) 脱イオン水の、電気抵抗の極めて高いものを得ることは可能である。しかし、脱イオン水の中には、不純物として有機物がかなり混入しているので、蒸留して使用しなければならない。

✧ 編 集 後 記

会員通信、春号をお送りいたします。本号は次回研究会の開催案内が記載されておりますので、なるべく早く発行する予定でしたが、おそくなりました。演題等の申し込みを期日内にすませるようにして御協力下さい。

次号の原稿をふるって御投稿下さい。(S)

別 項 I

Lecture : 組織培養の手法とその問題点

近年組織培養は、その手法の進歩とあいまって生物領域のあらゆる分野に応用され、生命現象の解析に不可欠の手段となった。しかし生体から切りはなされた組織、細胞を培養する *in vitro* の実験系は、各技法の特徴を十分に把握した上で利用することが必要であり、またえられた結果を生体の現象とむすびつけるにあたっては慎重でなければならない。

本研究会では、造詣深い数人の講師にお願いして、これまでに確立された技法により可能なアプローチ、その応用にあたっての問題点、あるいはより理想的な実験系を組むための将来の展望などにつきお話しいただく予定である。 (高木 良三郎)

別 項 II

シンポジウム : " Functional Cultures "

近年における体外培養技法の著しい進歩は、一方では、生体内のあらゆる組織や器官をガラス器内で培養し、生体内で行なわれる種々の生理機能や物質代謝の解析に大きな貢献を果しているのみならず、他方では、単一細胞の集団として、分化、増殖、老化などの生命現象の基本的な諸機構の解明や、ウィルス、腫瘍学、突然変異の研究などにも広く利用されるようになった。

生体内で組織や器官としての機能を営んでいる細胞は、多数の隣接細胞とともに規則的な立体構造を形成し、細胞相互に情報を交換し合い、このことが細胞の特性や機能の維持発現に重要な役割を果していると考えられる。したがって、細胞を解離してばらばらにして培養すると、多くの場合、体外培養条件下でのみ生存し、増殖することのできる細胞だけが選抜されたり、細胞自体が変化して、細胞の形態的特徴や、特異な酵素活性、タンパク産生能、抗原性、染色体構成、ウィルス感受性などの諸性質が変化することが知られている。

体外培養条件下で、このような細胞の特性や機能などをできるかぎり維持しながら、他方では、単一細胞集団としての活発な分裂、増殖を続けさせる実験系の開発は、器官培養の利点である組織や器官の種々の機能の解析に利用できるほか、細胞培養法の利点である定量性や再現性をも合せ持つことを目指した研究ということができる。

本シンポジウム " Functional Cultures " は、このような観点に立って、特殊なタンパクその他の高分子物質の産生や、ホルモンなどの分泌機能、神経機能などの諸機能を営み続ける細胞培養を目指して、*in vitro* の実験手法としての組織培養の方向と可能性を探ってみようというのがそのねらいである。

会員の皆さんの活発なご意見、ご発表、ご討議を期待いたします。

(黒田 行昭・安村 美博・高木 良三郎)

別 項 III
宿 舎

区 分	名 称	所在地および電話番号 市外局番 092	宿泊料金 その他 (S)シングル (T)ツイン	
ホ テ ル	西鉄 グラントホテル	〒810 中央区大名2-6 771-7171	(S) 5,500 } 以上 (T) 8,000 }	
	東急ホテル	〒810 中央区天神1-16 781-7111	(S) 5,800 } 以上 (T) 9,000 }	
	博多 都ホテル	〒812 博多区博多駅東2-1 441-3111	(S) 3,800 } 以上 (T) 7,000 }	
	東京第一ホテル 福岡店	〒810 博多区中洲5の2の18 281-3311	(S) 3,800 } 以上 (T) 6,400 }	
	博多 城山ホテル	〒810 博多区中洲5-3-4 281-2211	(S) 4,500 } 以上 (T) 7,500 }	
	ホテル ステーションプラザ	〒812 博多区博多駅前 福岡朝日ビル 431-1211	(S) 4,300 } 以上 (T) 7,000 }	
	福岡 山の上ホテル	〒810 中央区輝国1丁目1-33 771-2131	1人3,000 2人5,000 和室 (T) 4,000 以上 洋室	
	ホテルタカクラ	〒810 中央区渡辺通4-3 731-1661	(S) 3,500 } 以上 (T) 6,000 }	
	ビジネス ホテル	新博多ホテル	〒810 中央区薬院2丁目六っ角 771-8431	(S) 3,000 朝食500 (T) 4,800 以上
		セントラルホテル フクオカ	〒810 中央区渡辺通り4丁目1-2 712-1212	(S) 3,090 朝食500 (T) 5,940
アークホテル		〒810 中央区天神3丁目7-22 781-2552	(S) 3,400 } 朝食付 (T) 6,000 }	
サンハクトホテル		〒812 博多区博田駅中央街5-3 472-1111	(S) 2,950 } 以上朝食400 (T) 4,950 }	
三井 アーバンホテル		〒812 博多区博多駅前2-38-15 451-5111	(S) 4,470 } 朝食付 (T) 7,540 }	
博多 グリーンホテル		〒812 博多区博多駅中央街4-4 451-4111	(S) 3,200 } 朝食付 (T) 4,800 以上	
博多 第一ホテル		〒812 博多区博多駅筑紫口正面噴水 前 411-3501	(S) 3,790 (T) 6,650	
ホテル リッチ博多		〒812 博多区博多駅前3-30 451-7811	(S) 6,000 } パン (T) 10,000 } コーヒーサービス	
法華クラブ		〒812 博多区住吉3-1 271-3171	(S) 3,600 } 以上 (T) 4,000 }	
福岡 オリエンタルホテル		〒810 中央区西中洲2-22 781-2471	(S) 3,100 朝食500 (T) 5,200	
共済組合 関 係	博多会館	〒810 中央区薬院古浜町4-21-1 521-1361	(1人) 1,600	

日本組織培養学会第41回研究会

第41回研究会を下記により開催することになりました。10年ぶりの博多での会です。ふるって御参加下さい。

1. 会 場 : 福岡市電気ビル本館 地下2階会議室
福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電 代表092(781)0685
2. 日 程 : 5月28日(金) 午前 一般講演・総会 午後 Lecture 夜 懇親会
5月29日(土) 午前 一般講演 午後 Symposium
なお幹事会は5月27日(木)午後6時より博多会館(福岡市中央区薬院4の21の1, 電092(521)1361)において行います。
3. 研究会参加費 : 1,000円 懇親会費: 1,500円
4. 講演申込み〆切 : 同封の講演申込み票(一枚)に記入のうえ3月31日(水)までに送付して下さい。
5. 抄録原稿〆切 : 講演申込みの方には抄録用原稿用紙(一枚)を御送りしますので、黒インク楷書で記入のうえ4月17日(土)までに当方に必着するよう御返送下さい。
6. 講演時間 : 講演、質疑応答を含めて1人30~40分を予定しています。
7. 宿 舎 : 別項Ⅲの宿舎その他がございますので各人で早目に申し込んで下さい。
8. 講演申込み先および連絡先 : 〒812 福岡市東区馬出3丁目1番1号
九大医学部第一内科 氣付 高木 良三郎
電 092(641)1151, 内線 2457または2484
(研究室呼出しAM9.00~PM4.30)
9. Lecture : 組織培養の手技とその問題点(別項Ⅰ参照)
10. Symposium : Functional culture (別項Ⅱ参照)

キ リ ト リ セ ン

日本組織培養学会第41回研究会講演申込み票

〒 812 福岡市東区馬出3丁目1番1号

九大医学部第一内科 氣付 高木 良三郎

一般講演・Symposium (御希望の方に○印をつけて下さい)

演 題 :

(ふりがな)
発表者氏名 : (演者に○印をつけて下さい)

連 絡 先 :

プロジェクター : (1台しか使用できません)

16mm 映写機 : 要 不要 (いずれかに○印をつけて下さい)

その他の希望事項 :

〆切日 3月31日(水)